

2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年2月13日

上場会社名 福留ハム株式会社 上場取引所 東
コード番号 2291 URL http://www.fukutome.com/
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 治彦
問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 深町 誠 (TEL) 082-278-6161
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	19,612	2.2	△171	—	△144	—	330	—
2023年3月期第3四半期	19,183	0.6	△152	—	△113	—	△134	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 231百万円(—%) 2023年3月期第3四半期 △172百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	99.02	—
2023年3月期第3四半期	△40.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	14,426	2,458	17.0
2023年3月期	13,706	2,227	16.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 2,457百万円 2023年3月期 2,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	2.4	△320	—	△280	—	180	—	53.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	3,400,000株	2023年3月期	3,400,000株
2024年3月期3Q	63,212株	2023年3月期	63,050株
2024年3月期3Q	3,336,875株	2023年3月期3Q	3,336,971株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の「第5類感染症」移行に伴う行動制限撤廃により社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。一方で、長期化するウクライナ情勢、中国の景気減速、中東情勢緊迫化などの地政学的リスクに起因する原材料、エネルギー価格高騰及び円安進行による物価上昇等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、原材料費やエネルギーコスト、物流コストの上昇が企業収益を圧迫しており、更には、消費者の低価格・節約志向が高く維持されたなかでの競合他社との価格競争、人手不足等による労働コスト上昇など、厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、成長戦略構築と収益体質改善を最優先課題と位置づけ、「商品の競争力強化」、「営業力強化による販路拡大」、「業務の見直しによる収益構造改革」の三点に取り組み、これら重点施策の展開を実行してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、196億12百万円(前年同四半期は191億83百万円)となりました。利益につきましては、営業損失は1億71百万円(前年同四半期は営業損失1億52百万円)、経常損失は1億44百万円(前年同四半期は経常損失1億13百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億30百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億34百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業におきましては、国内の人流とインバウンド消費の回復に伴う業務筋、外食関連活性化傾向のなかでウインナー群の大袋商品が堅調に推移し、ハンバーグ等デリカ商品の販路拡大や既存商品の価格改定により売上高は増加いたしました。利益につきましては、原価圧縮や生産性向上に努めることで前年同期を上回りました。

その結果、売上高は85億43百万円(前年同四半期は83億10百万円)、セグメント利益(営業利益)は2億74百万円(前年同四半期比15.4%増)となりました。

食肉事業

牛肉におきましては、物価高に起因した消費者マインドが停滞した状況のなか、国産牛肉は高価格帯の和牛販売が低調に推移いたしました。交雑牛、内臓系希少部位の販売は堅調に推移いたしました。輸入牛肉におきましては、業務筋向けオーストラリア産冷凍牛肉の販売が堅調に推移いたしました。利益につきましては、国産牛において、和牛は減少も交雑牛の販売拡大が図れたことや利益が見込まれる内臓系希少部位の仕入拡大と販売強化により、利益は増加いたしました。

豚肉におきましては、国産ブランド豚の販売強化による取扱量の拡大に取り組んだことや、輸入豚肉における外食・中食等の業務筋に向けての冷凍商材の販売強化と販路の拡大により、豚肉全体の売上は増加いたしました。利益につきましては、国産豚肉相場が高値で推移した影響で仕入価格上昇分の価格転嫁が困難であったことが影響し前年同期を下回りました。

その結果、売上高は110億69百万円(前年同四半期は108億72百万円)、セグメント損失(営業損失)は26百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)20百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円増加の144億26百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億72百万円増加の78億19百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金11億79百万円の増加と現金及び預金3億48百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ9億52百万円減少の66億7百万円となりました。主な要因は、建物及び構築物1億68百万円、土地4億86百万円及び投資有価証券2億62百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億88百万円増加の119億68百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ8億82百万円増加の82億69百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金4億46百万円、短期借入金3億円及び未払金2億27百万円の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億94百万円減少の36億98百万円となりました。主な要因は、長期借入金2億37百万円、役員退職慰労引当金3億56百万円の減少及び長期未払金3億28百万円の増加によるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億31百万円増加の24億58百万円となりました。主な要因は、利益剰余金3億30百万円の増加とその他有価証券評価差額金1億3百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2023年11月13日に公表いたしました業績予想の変更はしておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,319	2,667
受取手形及び売掛金	2,584	3,763
商品及び製品	967	999
仕掛品	39	29
原材料及び貯蔵品	214	340
その他	40	43
貸倒引当金	△18	△25
流動資産合計	6,147	7,819
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,177	2,009
機械装置及び運搬具（純額）	714	704
土地	2,247	1,760
リース資産（純額）	73	52
建設仮勘定	-	16
その他	45	44
有形固定資産合計	5,258	4,588
無形固定資産	99	86
投資その他の資産		
投資有価証券	1,995	1,732
その他	304	297
貸倒引当金	△98	△97
投資その他の資産合計	2,201	1,932
固定資産合計	7,559	6,607
資産合計	13,706	14,426

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,190	2,637
短期借入金	4,253	4,553
未払法人税等	46	65
賞与引当金	154	79
その他	742	934
流動負債合計	7,387	8,269
固定負債		
長期借入金	1,951	1,714
役員退職慰労引当金	356	-
退職給付に係る負債	1,445	1,406
長期未払金	-	328
その他	338	248
固定負債合計	4,092	3,698
負債合計	11,479	11,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691	2,691
資本剰余金	1,503	1,503
利益剰余金	△2,451	△2,120
自己株式	△81	△81
株主資本合計	1,662	1,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555	451
退職給付に係る調整累計額	8	12
その他の包括利益累計額合計	563	464
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,227	2,458
負債純資産合計	13,706	14,426

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	19,183	19,612
売上原価	16,078	16,534
売上総利益	3,104	3,078
販売費及び一般管理費	3,257	3,249
営業損失(△)	△152	△171
営業外収益		
受取利息及び配当金	46	41
不動産賃貸料	41	42
その他	20	20
営業外収益合計	109	104
営業外費用		
支払利息	49	52
不動産賃貸費用	16	25
その他	3	0
営業外費用合計	70	78
経常損失(△)	△113	△144
特別利益		
投資有価証券売却益	-	535
特別利益合計	-	535
特別損失		
固定資産売却損	-	11
特別損失合計	-	11
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113	378
法人税、住民税及び事業税	20	48
法人税等合計	20	48
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134	330
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134	330

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△134	330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	△103
退職給付に係る調整額	19	4
その他の包括利益合計	△38	△98
四半期包括利益	△172	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△172	231
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,310	10,872	19,183
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,310	10,872	19,183
セグメント利益	238	20	258

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	258
全社費用(注)	△410
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△152

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,543	11,069	19,612
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,543	11,069	19,612
セグメント利益又は損失(△)	274	△26	248

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	248
全社費用(注)	△419
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△171

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、管理部門に係る費用であります。